



未来の先生展
2017

パラリンピック教育の授業展開

～ I'mPOSSIBLEを活用した共生社会への気づきの授業～

指導案・ガイドもセットになった教材進呈！

模擬授業形式

開催日時

2017年 8月 26日(土) 14:20-15:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館4F 407教室

司 会 者

日本財団パラリンピックサポートセンター

内容

「I'mPOSSIBLE」は、学校教育を通じて、より多くの子どもたちにパラリンピックの魅力を伝え、共生社会への理解と気づきを得るため、国際パラリンピック委員会が開発した教材です。教材の名前「I'mPOSSIBLE」には、「不可能（impossible）だと思えたことも、ちょっと考えて工夫さえすれば何でもできるようになる（I'm possible）」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められています。

パラリンピックのことをあまり知らない教師でも、教材キットを使用すれば、すぐにでも楽しくて分かりやすいパラリンピック教育の座学授業やパラリンピックスポーツの体験実技授業を行うことが可能です。本セッションでは、教師や教育関係者の参加者と一緒に、実際の模擬授業を行い、展開実践方法などを体験していただけます。

ここに注目！

国際パラリンピック委員会公認の国際版をもとに、日本の教育現場でより使いやすいように、日本パラリンピック委員会と日本財団パラリンピックサポートセンターが、公財)ベネッセこども基金と日本版を共同開発し、今年4月には全国の小学校に1校1セット配布しました。パラリンピック映像や実技授業の進め方映像、授業用シート（スライド形式・紙芝居形式）、教師用授業ガイド、教師用指導案などのキットがそろっているので、他の資料を準備しなくてもパラリンピック授業が行えます。パラリンピックという素材を通して、子どもたちにとってこれまでになかったような共生社会への気づきを提供できる授業を実践できます。

プロフィール



日本財団パラリンピックサポートセンター（通称：パラサポ）：2020年東京パラリンピック大会の成功とパラスポーツの振興を目的に、2015年5月、日本財団の支援により設立。日本財団ビル4階には、パラリンピック競技団体（28団体）が入居・利用する共同オフィスを設け、競技団体の支援を行うほか、パラリンピックスポーツの普及とインクルーシブ社会実現のための様々な啓発イベントや教育プログラムを実施しています。

公益財団法人ベネッセこども基金：「子どもたちが安心して自らの可能性を広げられる社会」の実現を目指して、2014年10月31日にベネッセグループにより設立。子どもたちが自ら学ぼう、伸びようとする力を十分に発揮できるよう、安心して学べる環境づくりや多様な学びの機会支援に取り組んでいます。

参加者へのメッセージ

実際に授業を実践した教師の皆様から以下のようなご感想をいただいています。

「パラリンピックのことは全く知らなかったが、必要な情報や授業で使用する素材がコンパクトに詰まっており、負担なく授業を行うことができた。」

「公開授業で使ったら、子ども達だけでなく保護者からの反応もとても良かった。」 「今までは パラリンピック教育は『やらなければいけない』ものだったけれど、この教材を見て『やりたく』なった。そして、使ってみたら『自分でもパラリンピック教育ができる』ことがわかった。」

「生徒も教師ももっとパラリンピックのことを知りたくなった。」

「自分が学生の時に、こういう教育を受けたかった。」

皆様にとっても、楽しい気づきの時間になるはずので、ぜひご参加ください！

参加者全員に、指導案・ガイドもセットになった教材を差し上げます。

